



海田の未来を担う海田っ子の学びに積極投資！

海田町長 竹野内 啓佑



こんにちは。竹野内 啓佑です。海田小学校と海田東小学校は誕生してから150年以上の歴史を重ねた本町の伝統校です。これまで多くの海田っ子たちが巣立ち、私もそのうちの一人。校舎内に入ると時空を超えて昭和の時代にタイムスリップしたかのよう。懐かしい雰囲気がかかしに漂っています。一方、校舎内外のいたるところで経年劣化が進み、老朽化対策が喫緊の課題に。そこで、令和6年1月から、両校の校舎建替を具体化するプロジェクトを本格始動しました。

海田東小学校については、「町長ランチミーティング」で児童から出された「子ども目線」の声も取り入れた基本構想を8月に策定。今後、基本計画から実施設計まで一貫通貫でスピード感を持って取り組んでいきます。また、海田小学校については、令和7年度から基本構想に着手。私自身も建築の専門家として目を光らせます。

両校の建替えて共通する基本理念は、①子供みんなの居場所を「つくる」、②学校の伝統や歴史が「つづく」、③地域の未来に「つながる」の3つの「つ」。

まちへの誇り・愛着を育み、そして何より海田っ子が「明日また行きたい」と思える学び舎づくりを、役場だけでなく町民の皆さんとともに進めていきます。

建替えに関する情報も随時、発信していきますので、お楽しみに！

最後に皆さんにお願いがあります。この校舎建替プロジェクトの推進力を高めるため、今後、寄附やふるさと納税などで幅広く支援を募っていきたいと考えています。「地元や母校の小学校を応援したい」、「海田っ子の学びを応援したい」という思いを抱き、このプロジェクトに共感していただける地域住民や母校の卒業生、民間企業の皆さん、ぜひお力添えを！

海田東小学校の校舎が新しく生まれ変わります！

問 学校教育課(役場3階) ☎823-9216 FAX.823-9256

令和11年度からの新校舎の利用に向けて、校舎建替の基本的な方向性をまとめた基本構想を策定しました。

子どもたちが「明日また行きたい学校」と思える学び舎をめざして、本館・新館・給食室を一体的に建て替えるなど、児童や保護者、地域の皆さんの意見をはじめ、保護者・教職員向けアンケートの結果などを参考にまとめています。

新校舎整備のポイント

●学びの中心となる学校図書館の整備

(イメージ)

館内に児童がリラックスして読書を楽しむスペースや、グループ学習、発表などができる設備を整えるなど、学びの拠点として、学年を超えてさまざまな児童が集い、学び合う交流の場を整備します。

●快適で温かみのある空間の整備

(イメージ)

児童の安全・安心に配慮しつつ、児童がゆっくり過ごし、落ち着くことができる快適で温かみのある空間を整備するとともに、児童一人ひとりが過ごし方を選べる多様な居場所を整備します。

●誰もが直感的に分かりやすいアプローチ計画、サイン計画

(イメージ)

児童をはじめ、誰もがスムーズに目的地とそこに至るまでの動線が分かるように施設全体をデザインします。案内標示にはピクトグラムを取り入れ、誰にとっても直感的に分かりやすいサイン計画とします。

くわしくは、海田町ホームページを確認してください。

